

## 阪九フェリー・安全への取組み

# 安全と環境での失敗はとて高きつく

### I. 従来型の安全・環境対策の落とし穴

1. 掛け声と懲罰システムだけでは効果が続かない  
⇒慣れる ごまかす 再発防止に繋がらない
2. 現場主義の誤解  
「現場のことは現場に任せろ」「現場に口出しするな」  
⇒仲間内のかばい合い 現場への責任転嫁

### II. マンネリを防ぎ緊張感を維持・向上するための取組み

1. 「経営会議」「船長・機関長会議」「事故調査委員会」等の  
海・陸相互の乗り入れ
2. 他人の目によるチェック
  - 海・陸職員合同の『船内大掃除』
  - プロによる船内巡回『船内警備サポート乗船』
  - 運送会社との安全会議である『安全運航検討会』
  - 女性による『サービス向上委員会』

### III. 安全・環境意識の底上げ

1. 海・陸合同イベントの実施
2. 「私たちのコンプライアンス」の普及

# 安全への取り組み



2013年11月19日  
阪九フェリー株式会社



## 1、航路



## 2、海上職・運航セクション



## 3、金曜会の開催



#### 4、海・陸の職員による船内大掃除の開催



#### 5、①船内警備サポート乗船～新門司調査役



### 5、②船内警備サポート乗船～泉大津調査役



### 6、事故減少への取組み



安全運航検討会



誘導講習会



現場作業への展開

## 7、サービス向上委員会



## 8、船内イベントの取り組み



民族ショー

音楽ライブ

## 9、コンプライアンス委員会



### 私たちのコンプライアンス

#### はじめに

この「私たちのコンプライアンス」は、阪九フェリー株式会社（以下「会社」という。）の役員並びに社員、契約社員、パートタイム従業員、派遣社員及び出向者のほか、会社にあつて直接又は間接に会社の指揮監督を受けて業務に従事するすべての人々（以下「役職員」という。）が、例外なく守らなければならない基本原則です。

私たちの目指すところは、公共交通機関としての社会的使命を担い、海上輸送における安全運航と高品質なサービスの提供に励むことで公正且つ適切な経営を実現することです。

ご清聴ありがとうございました



運輸事業の安全に関するシンポジウム2013

2013年11月19日

阪九フェリー株式会社

